

11月28日アナリスト向け決算説明会質疑応答(2017年3月期第2四半期決算)

- Q. 上期の上振れ要因は何があるか。下期見通しが計画を下回っている背景は何か。
- A. シート・精密・DDS等で予定していた研究開発費・修繕費が上期から下期にずれたことで、上期の上振れ要因となっており良く見えている。下期には開発が進んでいくので費用が発生してくる。
- Q. HDD サスペンションのシェアの現状での動向と今後の動きはどうか。また、今後の HDD そのものが置き換わることへの対応は。
- A. HDD は PC 向けが減少することは予想している。一方でニアライン等が増えていく状態が続くとの見方は変えていない。シェア変動の動きは今のところない。
- Q. タイ国王没後のタイマーケットをどうみたらよいか。マーケットが悪化した場合の対応策はあるか。
- A. 国王没後に国内の自動車販売が落ち込んでいることが報道されている。ただ、タイの自動車生産は輸出比率が高いので、輸出でなんとかカバーして行くのではないかと見ている。
- Q. 設備投資の来年の見方は。特に非連結分が大きくなっているが、内容と今後の動きはどうなるか。また次期中計の方向性はどうか。
- A. 設備投資は、これから各事業にヒアリングするので現時点では未定である。中計についても各事業と検討している。非連結の内容は、主に懸架ばねで九州・メキシコ・ハンガリーに生産子会社を設立している。特に懸架ばね事業では、これら非連結会社がいかに連結に貢献できるようになるかが次期中計の大きな課題ととらえている。先行投資としての位置づけである。

以上